

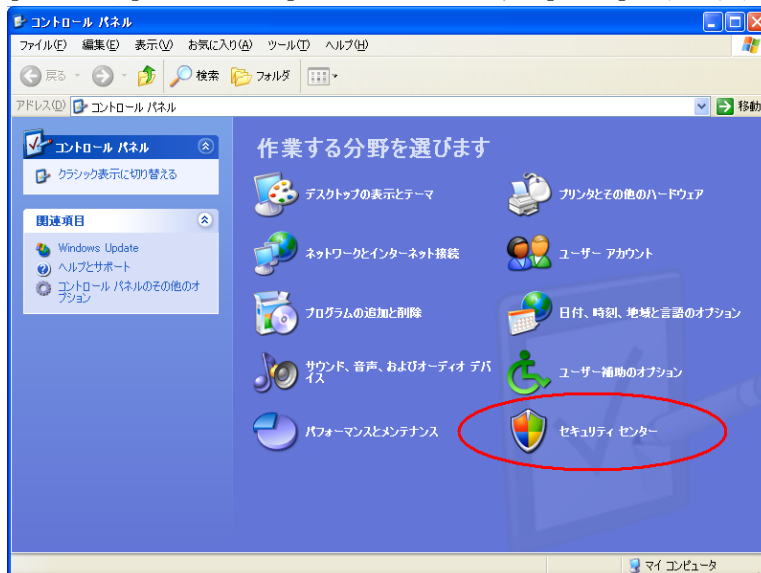
LAN 対応版 導入時の注意点

○サーバー管理機能を、Windows XP sp2 または Windows Vista にインストールした場合、ファイアウォール機能により、クライアントから SSS for Windows が接続できない場合があります。

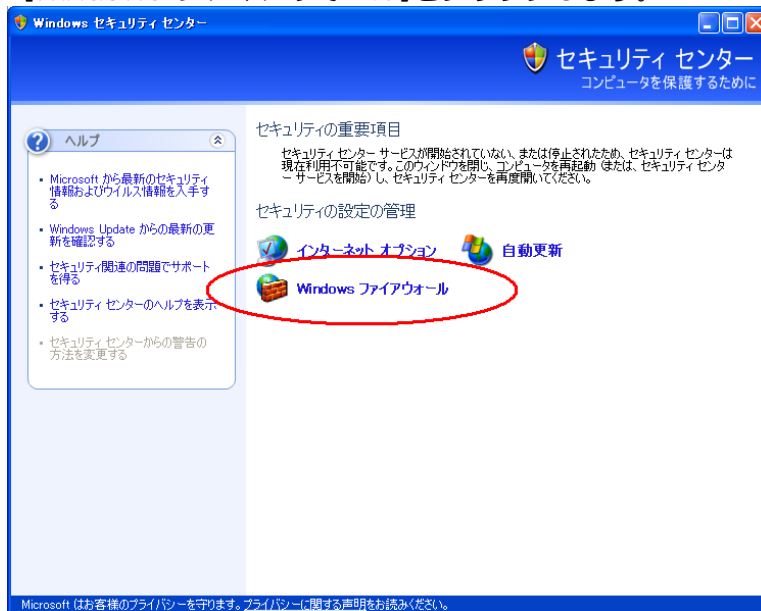
■対策

- ・ローカルエリア接続(LAN)に対してのファイアウォール機能を解除します。

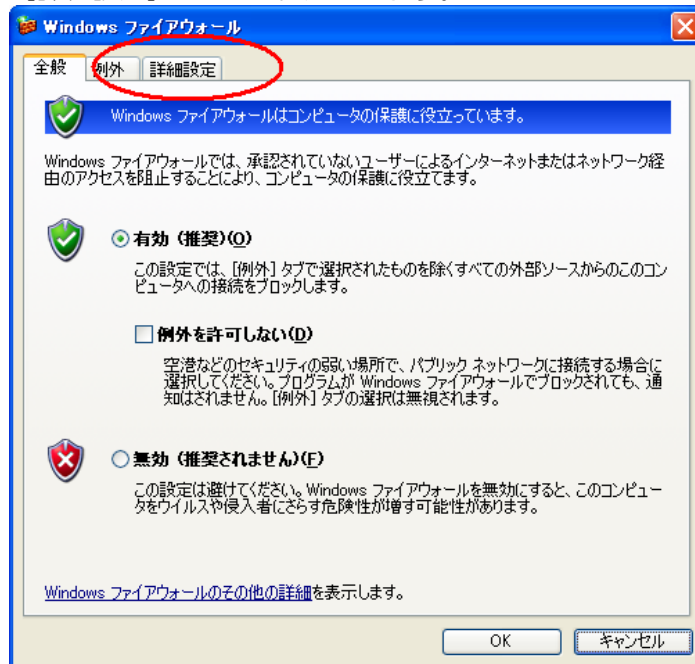
手順 1) [スタート]メニューの[コントロールパネル]から[セキュリティセンター]をクリックします。



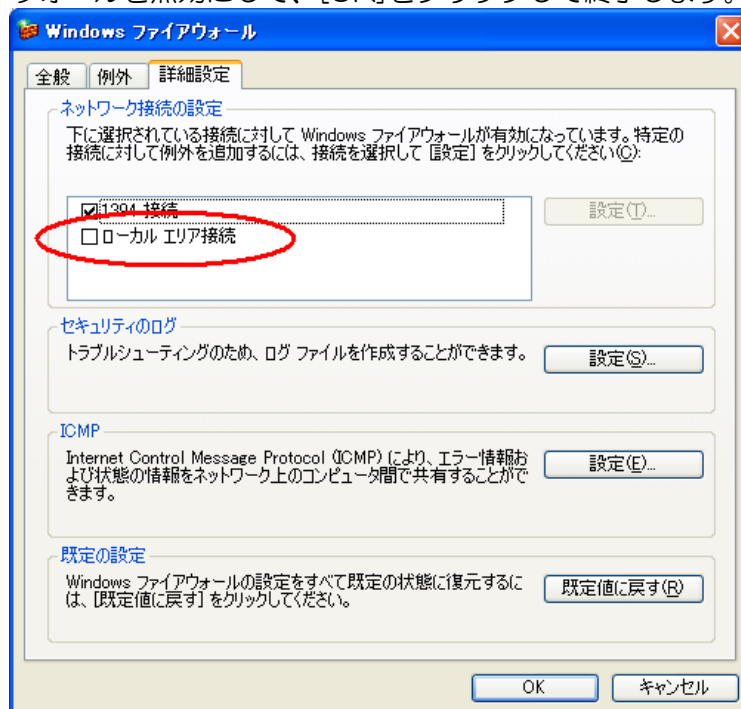
手順 2) [Windows ファイアウォール]をクリックします。



手順3) [詳細設定]タブをクリックします。



手順4) [ローカルエリア接続]のチェックをはずして、ローカルエリア接続(LAN)のファイアウォールを無効にして、[OK]をクリックして終了します。



※ ウィルス対策ソフトがファイアウォール機能を持っている場合は、クライアントから SSS for Windows で接続しようとする時、サーバー側で『接続を許可しますか?』などとメッセージが表示されますので、『常に許可をする』設定にする事でクライアントからの接続が可能になります。

○サーバー管理機能を、Windows XP Home Edition にインストールした場合、サーバー管理機能の共有フォルダの設定を手動で再設定しないと、クライアントから共有フォルダとして参照できない場合があります。

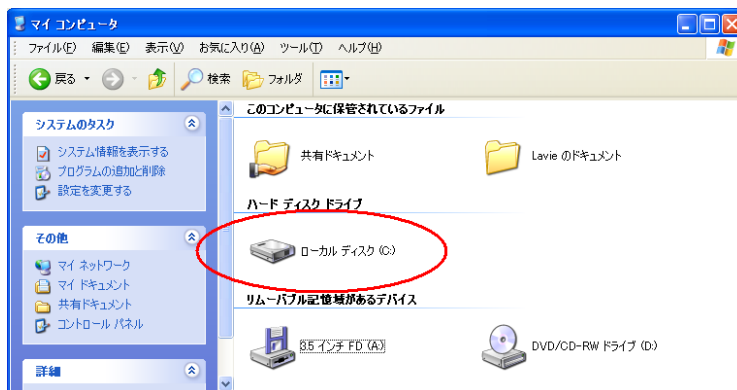
■対策

- ・サーバー管理機能の共有フォルダを手動設定します。

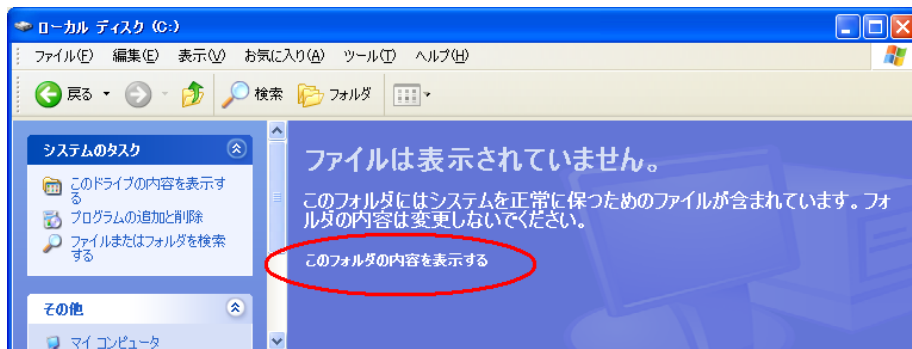
手順 1) [スタート]メニューの[マイコンピュータ]をクリックします。



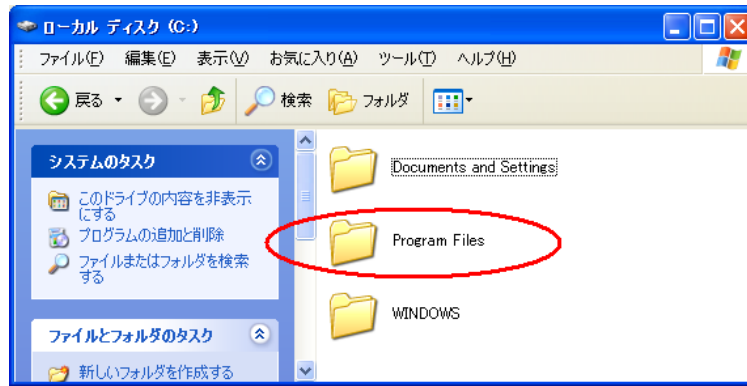
手順 2) SSS for Windows のインストールドライブ(通常は C : ドライブ)をダブルクリックして開きます。



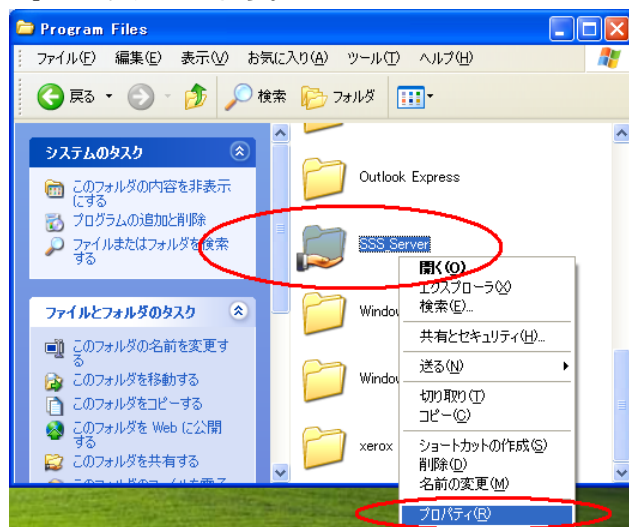
手順 3) 『ファイルは表示されていません』と表示された場合は、『このフォルダの内容を表示する』をクリックします。



手順4) [Program Files]フォルダをダブルクリックして開きます。



手順5) [SSS_Server(あるいは SSSWin)]フォルダを右クリックしてメニューを表示して、[プロパティ]をクリックします。



手順6) [共有]タブをクリックします。



手順7)『ネットワーク上でこのフォルダを共有する』をクリックしてチェックを入れます。

※ 既にチェックが入っている場合は、チェックをはずし、[OK]ボタンをクリックして、手順5) からやり直します。

[共有名]は『SSS_Server』と設定、『ネットワークユーザーによるファイルの変更を許可する』もクリックしてチェックを入れて、[OK]ボタンをクリックします。

